

For Earth, For Life Kubota



網代 昌洋

株式会社日立ソリューションズ
スマートライフソリューション事業部
ライフイノベーション本部
ビルディングサービス部
担当部長

山本 瑠星

株式会社日立ソリューションズ
営業統括本部
関西営業本部
第2営業部

小田 達也

株式会社クボタ
農業機械事業部
農業ソリューション本部
農業ソリューション推進ユニット
農業ソリューションデジタル
プラットフォーム企画推進部
国内企画推進室 営業企画課
担当課長

山本 康政

株式会社クボタ
農業機械事業部
農業ソリューション本部
農業ソリューション推進ユニット
農業ソリューションデジタル
プラットフォーム企画推進部
開発推進課

CASE 01

株式会社クボタ

人と農業を支え続ける。 データとAIで切り拓く未来の農業

#スマート農業

#AI活用

世界有数の農業機械メーカーとして、農家に寄り添い続けながら、現場のニーズに即した製品やソリューションを手がけてきた株式会社クボタ。日本の農業が構造転換のときを迎える中、同社は営農支援システム「KSAS」（ケーサス）を通じて、作業管理の効率化や高品質な農作物の安定生産を支え続けています。KSASの利用者が拡大する中、生産者だけでなく、農業生産関係者へのサービス提供の充実や、AIなどを活用した簡便で使いやすいシステムの実現が求められています。こうした背景のもと、農業経営に役立つ仕組みづくりが一層重要になっています。



当社は、KSASの契約課金システムの刷新を契機に、今後、データ活用やAI分野での連携をめざします。生産者の負担軽減に加え、「再現性」の高いスマート農業の実現をめざしていきます。



詳しくはこちら

メガトレンド

それぞれの想い

協創で実現する価値

実現したい未来

農業経営体数が減少する中、「担い手」と呼ばれる農業法人や大規模農家への農地集約化が加速。彼らの負担を軽減し、収益性と生産性を向上させるため、データを活用した再現性の高い農業への移行が急がれています。

株式会社クボタ

ハードとソフトの両面での支援を通じて、「農業を支える人々を支え続ける」ことが、私たちの使命です。

当社

契約・課金システムの提供に留まらず、データやAIも積極的に活用し、スマート農業の高度化への貢献をめざします。

「KSAS」は、圃場管理機能をはじめとする多彩な機能や、農業機械との連携、衛星リモートセンシング技術の活用によって、「農業の可視化」を支えてきました。今後はAI技術も活用しながら、高度な農業経営の実現に貢献します。

農業機械や圃場センサーからのデータ自動入力技術やAIを活用し、生産者の負担軽減と再現性の高い農業の実現をめざします。さらに、行政やJA、流通事業者も巻き込んだ農業のトータルソリューションを提供することで、人と食の豊かな未来に貢献していきます。

誰もが安心して働ける現場へ。 データとAIで進化する労働安全のSX

日本を代表する総合商社として、グローバルにビジネスを展開する住友商事株式会社。「人権の尊重」をマテリアリティに掲げる同社は、「従業員の安全」をグループ全体の経営課題と位置付けています。一方で、それぞれの営業グループが多様な現場を抱える中で、事故状況の把握や再発防止策の検討にかかる労力が増大していることが課題となっていました。そこで当社との協創で構築したのが、グループ全社の労災事故情報を一元管理できる労働災害管理システム「GENSAI」です。GENSAIは、企業間の情報共有や連携を支援するソリューション「活文Managed Information Exchange」を基盤システムとして採用。グローバルで発生する労働災害情報



を全社統一フォーマットで蓄積・共有する仕組みを構築しています。AI活用にも取り組み、蓄積した労働災害情報と同社が有するノウハウを組み合わせることで、グループ全体の労働安全性向上を実現。データとAIの活用を通じて、従業員の安全確保と持続可能な社会の実現をめざすSXの取り組みが、今大きく前進しようとしています。



詳しくはこちら

メガトレンド

それぞれの想い

協創で実現する価値

実現したい未来

2022年に、国際労働機関（ILO）が「安全で健康的な労働環境」を労働における基本的権利に追加。従業員の安全確保は、離職率の低下や生産性の向上、そして事業の継続性にも直結する重要な経営課題となっています。

住友商事株式会社

従業員に対して安全で衛生的で健康的な労働環境の整備を実施するのは企業の責任として、労働安全衛生の取り組みを行っています。

当社

今後もAIをはじめとするさまざまな技術を柔軟に組み合わせ、「GENSAI」のさらなる進化に伴走していきます。

「GENSAI」によって、63カ国125拠点の労災事故情報を同一基準で管理することが可能に。労災レベルの自動判定機能や、AIによる入力支援機能によって、労働安全担当者の経験差による判断のばらつきも解消されました。

データやAIを積極的に活用し、「GENSAI」を進化させることで、類似事故の予防や労働安全性のさらなる向上へとつなげていきます。その先に私たちがめざすのは、誰もが安全・安心に働けることができる社会です。

水上 友宏

株式会社日立ソリューションズ
スマートライフソリューション事業部
スマートワークソリューション本部
インフォメーションシェアリングソリューション部
グループマネージャ

五輪 美保

株式会社日立ソリューションズ
スマートライフソリューション事業部
スマートワークソリューション本部
インフォメーションシェアリングソリューション部
技師

横田 雅彦

住友商事株式会社
災害・安全対策推進部
労働安全チーム長



佐々木 優菜
株式会社日立ソリューションズ
営業統括本部
流通・サービス営業本部
第3営業部
主任

森 新
サントリービバレッジソリューション株式会社
マーケティング本部
担当課長

篠田 善佑
株式会社日立ソリューションズ
ビジネスイノベーション事業部
デジタルソリューション本部
デジタルソリューションサービス部
グループマネージャ

CASE 03

サントリービバレッジソリューション株式会社

キャッシュレス対応自販機で
暮らしと事業を持続可能に。
「ジハンピ」が生み出す新しい価値

#キャッシュレス化

#顧客体験価値向上

サントリービバレッジソリューション株式会社は、キャッシュレス対応自販機「ジハンピ」を通じて、生活者の利便性向上と事業の持続可能性を両立する新たな価値創出に取り組んでいます。従来の現金依存の自販機は、利用機会の損失や維持コストの課題を抱えており、キャッシュレス化の推進が急務でした。当社は「PointInfinityマルチポイントゲートウェイ」を提供し、多様なポイントサービスとの連携を実現。これにより自販機における顧客体験を拡張し、ユーザー接点の強化とサービス価値向上を後押ししています。両社は協創を



通じて、自販機を社会課題解決に貢献する新たなプラットフォームへと進化させていきます。



詳しくはこちら

メガトレンド

それぞれの想い

協創で実現する価値

実現したい未来

キャッシュレス化やスマートフォン決済の普及により、決済や購買体験が大きく変化。リアル接点のデジタル化やデータ活用が進み、従来型の設備も新たな価値創出のプラットフォームへの転換が求められています。

サントリービバレッジソリューション株式会社
自販機を通じた新たな顧客体験創出により、暮らしと事業双方の持続可能性を高めています。

当社

デジタル技術と共通ポイント基盤により流通を高度化し、顧客接点を起点とした価値創出を支援します。

共通ポイント連携を可能にする基盤により、自販機の利便性と顧客体験を向上。キャッシュレス導入の課題（コストや複雑性）を低減し、日常接点の質を高めながら新たな顧客価値の創出につなげます。

自販機という身近なインフラが再評価され、日常の接点の中で価値ある体験やサービスを提供し続ける存在へ進化。飲料を超えて、暮らしや社会に貢献する新たな役割を担い続けていきます。

業界団体やコミュニティとの連携で 社会課題の解決を加速

#専門的知見の結集

#業界団体

当社は、多様な業界団体やコミュニティへの参画を通じて、産業界や学术界、行政との協創を推進しています。各分野の専門的知見を結集し、社会課題の解決や社会基盤の高度化に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献しています。

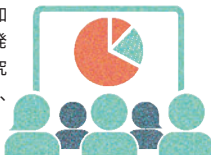
インフラメンテナンス国民会議

産学官民が連携してインフラ維持・管理の高度化を推進する団体です。当社は実行委員として運営に参画し、自治体のインフラ維持・管理の課題解決に向けた施策を検討し、推進しています。



プロジェクトマネジメント学会

プロジェクトマネジメントに関する知識の体系化と実践を通じて、その発展に寄与する学会です。当社は研究発表や国際会議への参加を通じて、プロジェクトマネジメント力の強化や人材育成に取り組んでいます。



一般社団法人AIガバナンス協会

AIのリスク管理を通じて価値を最大化し、政策提言などに取り組む団体です。当社は定例会や勉強会への参加を通じて知見を蓄積し、AIガバナンスの強化に活用しています。



NPO日本ネットワークセキュリティ協会

日本のネットワークセキュリティ普及と向上を目的とする業界団体です。当社は理事や部長として活動を主導し、安全・安心なデジタル社会の実現に貢献しています。



インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ

企業の垣根を越えて製造業の課題解決を推進する団体です。当社は研究分科会の主宰やワーキンググループへの参画を通じて、持続可能なものづくりに貢献しています。



OpenChain Japan Work Group

OpenChainは、OSSのライセンス管理など、組織間における信頼に至る基準を提供しているコミュニティです。当社は、Japan Work Groupの設立時より参画し、SBOM Quality Guideの編纂に協力するなど、OSSの適切な活用に取り組んでいます。



#オープンなコミュニティ

オープンなコミュニティ 「ハロみんな」で広がる 協創の取り組み

当社のオープンなコミュニティ「ハロみんな」で、株式会社丸井グループと協創イベントを開催。同社の「内なる意志（Will）」と当社の「未来トレンド洞察」という異なるケイパビリティを掛け合わせ、一人ひとりの想いから社会課題をビジネスで解決するアイデアを創出しました。参加者が次の一步を踏み出す自己分析とビジネスの種創出を強力に後押し。両社コミュニティの相乗効果で熱量の高い場を実現し、新たな価値創出と協創の輪を広げています。



詳しくはこちら



#データ保護

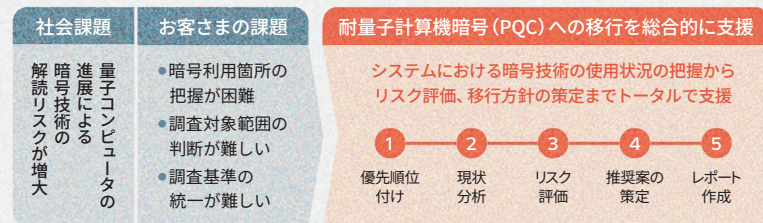
#耐量子計算機暗号

量子コンピュータ時代の 到来に備える、データ保護



量子コンピュータの研究開発が進み、現在広く使われている暗号技術が将来的に解読されるリスクが指摘されています。特に、現在の暗号通信を盗聴、保存するHNDL攻撃^{*}の脅威が高まっており、金融庁は金融機関に対し、長期秘匿性が必要なデータについて、解読困難な数学的構造を基盤にした耐量子計算機暗号(PQC)への早期移行を要請しています。社会や企業には「将来を見据え、今から備える」姿勢が求められる中、当社は、量子コンピュータ時代においても情報の信頼性を保つため、暗号技術の使用状況を可視化し、重要度やリスクに応じた計画的な移行を検討する取り組みを支援しています。先端技術の進化を前提に、情報資産を未来につなぎ、持続可能な社会に貢献していきます。

※ HNDL 攻撃：Harvest Now, Decrypt Later。現在の暗号データを盗聴、保存しておき、将来量子コンピュータで解読する攻撃手法



SOLUTION 耐量子計算機暗号への移行に向けた支援サービス

本サービスは、当社のセキュリティ製品開発に携わってきた暗号技術の専門家が、システム内で使用されている暗号技術の棚卸を行い、どの情報がいつまで守られる必要があるのかを可視化します。その上で、量子耐性、影響度、蓋然性の観点からリスクを評価し、移行の時期、優先順位、採用技術、改善項目を提案します。前例がないシステム移行を、お客さまと共に考え、方針が明確になるように支援します。

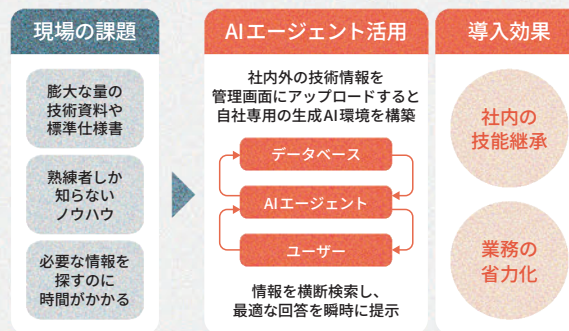


詳しくはこちら

建設業に特化したAIで、現場業務の省力化を支援

#技能継承

当社は、北野建設株式会社(以下、北野建設)との協創を通して、建設業界の課題である技能継承や業務の省力化に取り組んでいました。建設業における技術情報調査や文書作成の自動化も見据えて、社内外の技術情報を対象とするナレッジ検索が可能となる「建設業向けAIエージェント活用ソリューション」を開発し、北野建設での運用が開始されています。



SOLUTION 建設業向けAIエージェント活用ソリューション

本ソリューションは、国土交通省、自治体の公開資料や社内に蓄積されている技術資料、業務ノウハウや規程などを管理画面からアップロードするだけで、生成AIを用いたナレッジ検索が可能になります。利用者はチャットボットに質問するだけでナレッジ検索ができるため、経験の浅い技術者でも時間や労力をかけず、必要な情報を収集できます。



詳しくはこちら

#スマート物流

入出荷現場の働きやすさ向上を、 スマートフォンで支援

物流効率化法の改正により、貨物の荷待ち時間や荷役時間を把握・改善が求められるようになる中、現場での業務の流れを変えず、スマートフォン一つで「現場ログ」を取得する仕組みを提供しています。日常の検品・仕分け作業の中で自然にデータを蓄積することで、現場の働きやすさの向上を支援します。

SOLUTION
複数コード対応
高速スキャン
提供サービス



詳しくはこちら

Our Group Activities

【当社グループの取り組み】

日立ソリューションズ東日本

#農業DX

持続可能な農業の実現に向けて JA（農業協同組合）と協創

北海道内10カ所のJAと協創し、持続可能な農業の実現に向けて「農作業自動記録サービス」の試験導入を開始しました。スマートフォンのGPS位置情報とAIを活用して農作業を自動記録することで、作業者の入力負担を軽減するとともに、農作業データの共有や活用を支援します。農業従事者や関連する機関など、関係者間で農作業の状況を可視化し、問題の早期発見や営農指導の高度化につなげることで、効率的な農業経営と地域農業の発展に貢献しています。



詳しくはこちら

「農作業自動記録サービス」の仕組み

① 位置情報を収集	② 軌跡情報をAI解析	③ 農作業データ生成
スマートフォンのGPSで農作業中の軌跡を取得	AIエンジンが軌跡情報をもとに作業種別を自動判定	日時や作業内容、圃場情報など、農作業データを日誌として自動登録
		日付: 20xx年x月x日 7:00-8:00 1-1 大豆 防除 8:30-9:30 2-1 小麦 耕起

日立ソリューションズ・クリエイト

#持続可能な畜産

#画像認識AIで卵内の雌雄判別



詳しくはこちら

アニマルウェルフェアに 学術機関と共同開発で貢献

アニマルウェルフェアの課題であるオスのひよこの淘汰回避に向け、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）、国立大学法人九州工業大学と共同で、画像認識AIを活用した鶏卵の卵内雌雄判別技術を開発しました。3者の専門知見を結集した技術により、ふ卵3日目の鶏卵を傷つけることなく、最高97%の精度で雌雄判別できることを確認しました。今後は実用化を通じて、持続可能な畜産への貢献をめざします。



日立ソリューションズ・テクノロジー

#作業現場の高度な安全監視

#現場DXによる業務負担低減

駐車場監視、インフラ施設監視・ 保守において、フロントラインワーカーの 業務効率化、安全監視を支援

映像や画像を理解しテキストで状況を説明するVLM（Vision Language Model）技術を活用し、フロントラインワーカーの安全監視や業務効率化を支援しています。駐車場監視、インフラ施設の監視・保守のユースケースにて、パートナー会社と共同で実証実験を実施し、監視カメラ映像から現場の状況や異常を自動で言語化することで、安全監視の高度化や巡回・報告業務の効率化に向けた有効性を確認しました。人手不足や業務負担の軽減にも貢献する、現場DXの推進をめざしています。



詳しくはこちら

